

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	673200309
法人名	社会福祉法人 幾久栄会
事業所名	グループホーム こうらく
訪問調査日	平成 21 年 1 月 14 日
評価確定日	平成 21 年 3 月 4 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	673200309		
法人名	社会福祉法人 幾久栄会		
事業所名	グループホーム こうらく		
所在地 (電話番号)	山形県酒田市小泉字前田44番地 (電話) 0234-64-3704		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成21年1月14日	評価確定日	平成21年3月4日

【情報提供票より】(平成20年12月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 3 月 29 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 6 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	8.3 人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造平屋 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(12月5日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 86.1 歳	最低 76 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	酒田市立八幡病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

観葉植物の緑や色とりどりの花鉢に囲まれながら、利用者と職員は「一つの大きな家族」としての信頼関係を深め、喜怒哀楽を共にしながら暮らしています。手間暇かけた「旬の料理」を味わう、大正琴に合わせて歌を歌う、「骨を丈夫に！」を合言葉に戸外活動に出かけるなど、季節の体感や地域とのふれあいを大切にしながら、その人らしい笑顔がみられるサービス提供に取り組んでいます。

各部屋に防災頭巾や懐中電灯を備え付け、また、年に6回の防災訓練には地域の防災協力員や家族も参加して行われていることは、より安全で安心な暮らしを支える取り組みの一つになっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	②	前回評価での改善課題はありません。
重点項目	③	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	④	前回の外部評価結果も参考にしながら、職員一人ひとりが今回の自己評価に取り組み、管理者が最終的にまとめている。また、前回の外部評価の際に改善課題はなかったが、「改善計画シート」を自ら作成して取り組むことにより、更なる質の向上につながる成果も上がってきている。
重点項目	⑤	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	⑥	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、玄関内への洗面台設置(外部からの感染防止のため)、認知症の出前講座の開催、家族と一緒に行う施設視察や防災訓練など、サービスの向上につながる活発な意見交換がなされている。
重点項目	⑦	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	⑧	面会時や行事の際の何気ない会話の中から、家族の意見や苦情を聞くようにしている。また、外部の苦情相談窓口についても玄関に掲示されている。
重点項目	⑨	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	⑩	地域交流室の活用、八幡芸術祭・地域のお祭り・夏の盆踊りへの参加、中学生の職場体験実習やボランティアの受け入れなどにより、地域住民との交流を深めている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域への貢献も考え、全職員で検討した独自の理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は常に理念を意識しながら、その実践に向けた取り組みを管理者と共に行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域交流室の活用、八幡芸術祭・地域のお祭り・夏の盆踊りへの参加、中学生の職場体験実習やボランティアの受け入れなどにより、地域住民との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果も参考にしながら、職員一人ひとりが今回の自己評価に取り組み、管理者が最終的にまとめている。また、前回の外部評価の際に改善課題はなかったが、「改善計画シート」を自ら作成して取り組むことにより、更なる質の向上につながる成果も上がってきている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、玄関内への洗面台設置(外部からの感染防止のため)、認知症の出前講座の開催、家族と一緒に施設視察や防災訓練など、サービスの向上につながる活発な意見交換がなされている。		

山形県 グループホームこうらく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市のサービス連絡協議会への出席、介護予防講座の講師引き受けなどが行われており、普段から市の担当者と連携を取りながら、共にサービス向上を目指して取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月発行されている広報「ほほえみ」で利用者の暮らしぶりなどを伝えたり、また、絵手紙も季節ごとに送ることにより、家族との絆がさらに深められるようにしている。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	面会時や行事の際の何気ない会話の中から、家族の意見や苦情を聞くようにしている。また、外部の苦情相談窓口についても玄関に掲示されている。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の定期的な人事異動は最小限に留めており、関わる人が変わることによる利用者へのダメージを防いでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	年間研修計画が立てられており、職員がそれぞれ段階に応じて、法人内・法人外の研修を受けられるよう配慮している。また、職員の資格取得についての支援もなされている。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	交換研修や施設見学研修などを通じた交流が図られており、互いにサービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「一つの大きな家族」として、共に暮らし支えあえる関係が築き上げられるように、日々の暮らしの中で信頼関係を深めながら、喜怒哀楽を共にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各利用者の思いや希望を汲み取るために、寄り添う介護を目指している。また、利用者と家族との関わりや交流の中からわかることもあるため、外出や外泊の機会を増やすことにより、利用者一人ひとりの意向を更に把握しようとしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は利用者ごとに担当制を取っているが、3ヶ月毎に行う介護計画見直しは、職員全員が関わって作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の急変などにより介護計画の見直しが必要になった場合には、関係者との検討結果も踏まえながら、現状に即した新たな計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	希望するかかりつけ医で診てもらうことができ、適切な 医療の受診ができるように支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	「重症化の指針」についてはサービス開始時に説明さ れており、関係者との方針の共有もなされている。ま た、「看取り」や「異常の発見時の救急法」などについ ては、法人内研修でも取り上げられ、利用者支援にも役 立っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	暖かく、穏やかな声掛けが日頃から行われており、誇り やプライバシーに配慮した暮らしの支援もなされてい る。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの当日の体調や天候などに合わせ、楽しい 一日が過ごせるよう臨機応変に暮らしが支援されてい る。		

山形県 グループホームこうらく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑からの収穫、買い物、下ごしらえ、調理など、できることはそれぞれの利用者が分担して行っており、会話も弾む、笑顔と活気のある食事場面となっていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	声かけや介助を個別に行いながら、利用者の希望に合わせた入浴を支援している。また、入浴できない場合には、足浴、清拭、衣類交換などが行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りや保存食作りなど、手間暇かけては「旬の料理」を味わっており、また、大正琴に合わせて歌を歌う、園芸や手芸、季節の飾り付けをするなど、一人ひとりの能力や希望に合わせた多彩な支援に取り組まれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「骨を丈夫に！」を合言葉に戸外活動を多く取り入れており、気分転換やリハビリの面でも成果があがっている。また、歩行困難な方でも車イスを利用して出かけられるように、積極的に支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	目配りや玄関のチャイムなどで安全にも配慮しながら、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者がより安心できるようにと、家族の面会を増やす取り組み、電話や絵手紙を利用した取り組みも行われている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	各部屋には防災頭巾や懐中電灯が備え付けられ、また、年に6回の防災訓練には地域の防災協力員や家族も参加しており、積極的に災害対策に取り組んでいる。		

山形県 グループホームこうらく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同じ法人の管理栄養士が立てた献立をベースにして、旬の食材や利用者の希望も取り入れながら、利用者にも食べやすい、バランスの良い食事が提供されている。また、水分摂取量と食事残量のチェックや体重測定を行い、健康管理の目安の一つにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓から降り注ぐ光が気持ち良い、床暖房のあるホールでは、観葉植物の緑や色とりどりの花鉢に囲まれながら、気の合った利用者同士が和やかに過ごしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が見慣れている品々、使い慣れた家具などが持ち込まれた、その人らしく過ごせる居室になっている。		